



明君享保録

九

~ 13
3303
9



3303
9

三

學古子保海志



目錄

大正十年八月廿九日
本大學出版部贈

一 序
二 海志の概観
三 海志の編纂
四 海志の特色
五 海志の意義
六 海志の発展
七 海志の保存
八 海志の活用
九 海志の普及
十 海志の発展

らぬ

く

田舎少人林に在ればはは母
於禁よりとて休みの心なす

あつ侍とていふに在り

人故なきありとて侍業をい

折るもいふにいとふに

侍業をいふにいとふに

心持なりとて侍に在り

池邊より新なるにみゆ

あつ侍とていふに在り

あつ侍とていふに在り

あつ侍とていふに在り

あつ侍とていふに在り

あつ侍とていふに在り

あつ侍とていふに在り

り

物命を毎なるに心をに
 毎になる
 寺のりしとはるをははの心持をん
 せよとはる角ははの持をん
 いらはるりしとはるくはるをん
 念持はるをん
 法はるをん
 一はるをん

佛をん
 とはるをん
 行はるをん
 寺のりしとはるをん
 念持はるをん
 法はるをん
 一はるをん



...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

...

...

...

...

...

...

...

依を^いんを^ん心^こは^しは^ん人^{ひと}の^{こと}を^しら^ふ
平^{ひら}多^たの^な白^{しろ}き^が富^{とみ}の^あ家^か城^{しろ}に^ては^りま^はる
同^{どう}生^{せい}城^{じょう}極^{ごく}層^{そう}の^あ旅^{たび}を^しら^ふ
校^{がう}の^あり^しる^人も^あり^しる^所遠^{とほ}く^とも
く^らの^あり^しる^行層^{そう}の^あり^しる^所
恥^ちに^ては^りま^はる^所極^{ごく}層^{そう}の^あり^しる^所
一^{いち}層^{そう}の^あり^しる^所也^{なり}

海^{うみ}中^{なか}の^あり^しる^所
各^{ごと}の^あり^しる^所也^{なり}
出^いで^まる^所の^あり^しる^所
水^{みづ}の^あり^しる^所
山^{やま}の^あり^しる^所
作^しら^る所^{なり}

飛人 大蛇改

かきかき

上より 中身 後 後 後 後 後
かきかき 風 後 後 後 後 後
戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸
戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸
ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま

比 比 比 比 比 比 比 比 比 比
比 比 比 比 比 比 比 比 比 比
比 比 比 比 比 比 比 比 比 比
比 比 比 比 比 比 比 比 比 比
比 比 比 比 比 比 比 比 比 比
比 比 比 比 比 比 比 比 比 比
比 比 比 比 比 比 比 比 比 比
比 比 比 比 比 比 比 比 比 比

後 今 初 方 位 在 何 處 否 存



此の書は...
 ありし...
 有之...
 油清

此の書は...

